



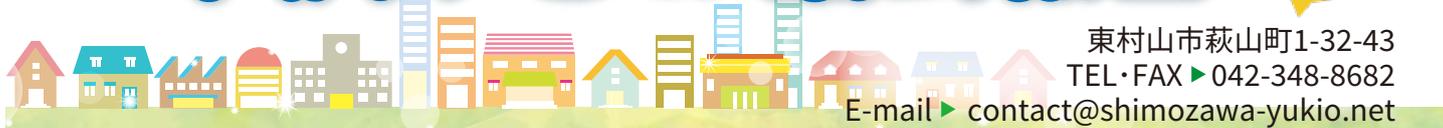
誠実、真心、確かな実行力

東村山市議会議員

下沢ゆきお議会報告



vol.14



東村山市萩山町1-32-43
TEL・FAX ▶ 042-348-8682

E-mail ▶ contact@shimozawa-yukio.net

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から、暖かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。さて、経済社会活動もコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、物価やエネルギー価格高騰により、市民生活、事業経営、さらには地域経済への影響は依然厳しい状況が続いています。



提言書「中学校での全員給食の実施」を議長へ手交する



下沢ゆきお 生活文教委員長
生活文教委員長として
議場で報告する

そのような中、東村山市3月定例議会において、「SDGs 未来都市として、多様性・包摂性のある持続可能な東村山市を目指し、経済・社会・環境の三側面で新たな価値を創造するとともに、行財政改革推進する予算」を方針とする「令和6年度一般会計予算」等が成立しました。

本号では、その概要や一般質問で取り上げた「首都直下地震に備えて」と「公共施設再生により機能集約化される萩山集会所について」に係る質疑応答を中心にご紹介します。

現下の厳しい状況を乗り越え、市民や事業者の皆様が安心・安全な暮らしができるよう日々取り組んでまいります。皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

東村山市議会議員 下沢ゆきお

● 令和6年3月定例議会を振り返る

○**本会議**：令和5年度一般会計補正予算の審議、一般質問を行う（2月27日～29日）。生活文教委員長として委員会の審議報告、委員会として「パレスチナ自治区ガザ地区において一刻も早い平和構築をするための外交努力を日本政府に求める意見書」を提出（3月26日）。

○**生活文教委員会**：委員長として、「東村山市体育施設条例の一部改正条例」「東村山市市民農園条例の一部改正条例」「東村山市図書館設置条例の一部改正条例」の3条例の審議、陳情2議案の審査、及び所管事務調査事項「中学校での全員給食の実施について」の調査、行政報告（3月5日）。委員会提出議案の審議（3月18日）。所管事務調査の一環で小平市立学校給食センター視察（1月29日）。

○**議会運営委員会・協議会**：議会運営に関する協議を行う（1月19日、31日、2月9日、14日、21日、3月7日（委員会）、25日）。

○**予算特別委員会**：令和6年度一般会計予算（民生費、農林業費、商工費）、下水道事業会計予算に関し、会派を代表して質疑を行う（3月12日～18日）。

○**審議会 その他**：東京都四市競艇事業組合議会（2月2日・3月28日）・監査（1月19日・3月27日）・行政視察（1月24・25日）、東京都11市競輪事業組合議会（2月2日、3月28日）。

厚木市議会視察対応（1月12日）。議会報告会（2月17日）。

各議員が日頃から感じている疑問、新たな行政課題への対応など「市の一般事務」について『質問』の機会が与えられています。今回は、以下のテーマで質問しました。今後も市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりのため、皆様の声を議会で取り上げてまいります。



一般質問する下沢ゆきお議員

首都直下地震に備えて

●ポイント

安全・安心な防災に強いまちづくりのため、「首都直下地震等による東京の被害想定」による「多摩直下地震」を想定した現行の「東村山市地域防災計画」における減災目標に対するこれまでの取組状況等について確認しました。

市では要支援者として約2万人と把握し、それとは別に手上げ方式による避難行動要支援者として2,538人が名簿登録されています。そのうち個別計画策定は265人のみです。

震災時における避難所以外で避難している市民に係る安否確認の仕組みの構築が、今求められていると感じています。

○死者・負傷者を104人、1,187人と予測

最大約36,000人の避難者（うち避難所生活者約23,500人）の発生を予測

○迅速かつ適切な避難所の開設、運営にあたっては、避難所要員の役割は重要。

○高齢者や障害のある人など一定の配慮が必要な人（避難行動要支援者）の安否確認や支援の流れの確認と平時での訓練が重要。

○福祉避難所（2次避難所）として、現在25施設と提携。

○市内には自主防災組織は34、人材養成・確保面での課題を抱えている。

○水道水については、震災時に断水率

34.1%と想定。市内には八坂給水所、東村山浄水場など4か所の給水拠点、各避難所での給水車や災害時給水ステーションの開設により、災害時は給水することとなる。

ペットボトル 73,240本を備蓄。東村山浄水所 3万6千トン、八坂給水所 2万トン、美住給水所 2,020トン、配管直結応急水槽 運動公園 1,500トン、秋津小学校 100トン、計5万9,600トン。民間の井戸 80か所（生活用水）。

○東村山市地域防災計画等の見直しを行っており、プレス発表、ホームページ掲載のほか、概要資料を作成し、市民や関係機関等へ配付することを予定。



災害時安否確認ボード

公共施設再生により機能集約化される萩山集会所について

●ポイント

公共施設再生アクションプラン（萩山小学校等複合施設の整備に関する基本計画）によれば、萩山小学校の建替えに際して、萩山公民館、萩山図書館、萩山憩いの家、萩山集会所、萩山児童クラブの各公共施設が複合化の対象として整備され、新施設の供用開始に合わせて既存施設から移行することとなる。

公共施設再生の原理原則は理解する。将来にツケを回さないことは大事。地域住民の幸せ、そこでのコミュニティーの形成ができている、これをどのように維持していくかは行政の役割でもあると考える。

新学校施設の開設予定までまだ先であるので、それまでの間に代替手段なども考え、私も良くなる方向に向かって努力していきたい。

○地域住民にとって地域の交流、活動の拠点となっている集会所の存続は、大きな関心事となっている。施設の利用実態、利用者からの意見等も踏まえ、施設の維持管理、行政とのパートナーと位置付け自治会活動等を支援する立場から、所管の見解を伺う。

答弁（担当部長）地域住民にとって地域の活動の拠点となる集会所の役割というのは重要であると考えます。萩山集会所は、昭和51年1月に開設、この間地域コミュニティーの醸成やサークル活動の場として多くの市民、団体の方々に利用され、地域の交流や活動の拠点となっている施設であると認識している。建設から50年が経過し老朽化が進み、緊急性に応じて修繕等の対応を行っている。

公共施設の考え方に基づき、公共施設の配置、バランスを考え、学校を軸とする施設の再生を進めていくものと捉えている。

様々な意見があることは承知しているが、地域の皆さんの活動や交流が活発になるような支援を引き続き行ってまいりたい。

○自治会組織、地域住民の幸せ、コミュニティが断絶してしまう恐れも危惧している。自治会活性化のための支援もしている一方、公共施設の再生だけで自分たちの考えを持たずに進めると言うのはいかがなものか。自治会支援の立場での所管の意見を改めて伺う。

答弁（担当部長）地域の活動拠点として活用されてきた重要な施設だと認識している。ただ、公共施設の再生という大きな課題、これは将来にわたって東村山市を持続可能とするにはどうしたらいいかという重要な課題ととらえている。将来世代にツケを残さないために計画を立て、どのように実行していくかの視点で準備をしておかないと後になってツケが回ると言うことでは取り返しもつかないことから、考えながら進めているところ。





情報コーナー



3月定例会で採択された主な政策、制度改正の内容についてお知らせします。
詳しくは、市報やホームページで確認くださいようお願いします。

萩山公園整備事業

魅力あるオープンスペースの充実と地域の防災性の向上を図るとともに、指定管理者のPark-PFI事業による公園施設の整備を行い、多様な利用者のニーズを満たし、市民の方々の憩い交流の場となるような空間づくりを目指しています。



令和7年度開園を目指して整備が進められる萩山公園

萩山小学校等複合施設整備事業

萩山小学校を核とした複合施設の整備が始まります。令和6年度は、公共施設再生アクションプランに基づき、萩山小学校と周辺公共施設の複合施設整備に向け、設計、施工、維持管理等業務を一体的に委託する事業者選定を行い、7年度以降、契約、設計、工事と進み、令和12年度の運用開始を目指します。

運動公園プールの廃止

運動公園プールは、施設・設備の老朽化も顕著であり、持続可能な運営を行うためには多大な費用が必要であることなどの理由で令和5年度をもって廃止となります。運動公園プールの利用者数は、昭和49年の開設後、昭和53年度の106,143人から令和元年度には9,065人とピーク時の1割にも満たない状況に減少していました。

運動公園プールは廃止し、市民スポーツセンター屋内プールに機能集約し、解体後は管理棟の建て替えや、運動公園施設を多機能に利用できる空間として整備していくことを検討していくこととなります。

憩いの家巡回バスの廃止

コロナ禍での利用者数減少を踏まえ、令和4年度から運行を中止していた憩いの家巡回バスは、施設利用者等へ実施したアンケート調査結果においてもニーズが高くないことから、令和5年度をもって廃止することになりました。

誠実、真心、確かな実行力

□東村山市議会議員 2019年初当選
2023年2期目

<所属>

- 生活文教委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 東村山市総合計画審議会委員
- 東村山市民生委員推薦委員会委員長

□職歴

経済産業省・中小企業庁職員

□地域活動

- 南萩会自治会長
- 萩山小学校学校運営協議会 会長
- 萩山小学校避難所運営連絡会 会長
- 萩山ファンクラブ実行委員長
- NPO法人萩山町地域まちづくり 理事長
- 東村山市ソフトボール連盟 会長
- 東村山ティーボール連盟理事
- 日本ティーボール協会理事
- 萩山町保健推進員
- 東村山市福祉協力員

□保護司 中小企業診断士



下沢ゆきお プロフィール

令和6年6月定例議会

6月3日	定例会初日
6日	
7日	一般質問
10日	
12日	常任委員会
~8日	
25日	定例会最終日

📍みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。